

△院長あいさつ△

三月一日の朝八時、開院祝賀会が新しいクリニックの玄関前において開かれました。私のほかに副院長、東条設計株式会社の社長さん、三和建設株式会社の社長さん、そして患者さん代表として山野さんの五人が真新しいハサミを持って紅白のテープを切りました。

新クリニックは県道に沿って建ち、外観の色が白と青でとても目立ちます。建物の中は、床や壁の色、照明の色や光の強さまでこだわりとても明るい雰囲気になりました。中に入ると、一番にきれいで広いという印象を受けます。廊下が長いというのも特徴です。

また、新しくCTという検査機器を入れました。CTとはコンピューター処理によって人間の体の輪切りをレントゲン写真として見ることができるものです。CTがすぐに撮れるようになつたことにより吉野台地を降りなくともCTが撮れるようになり、大いにみなさんの役に立てるのではないかと期待しております。

さて、在宅患者さんが新しくなったクリニックを見るのは、デイケアかがやきに来られたとき、レントゲンやエコーなどの検査があるとき、あるいは病棟に入院することになつたとき、などでしょう。何かの理由でクリニックに来られたときは是非とも待合ロビーの

壁画を眺めてください。私の友人でプロのイラストレーターの大寺さんが描いてくれた吉野台地の壁画には内村川上内科やデイケアかがやきの建物はもちろん、ろうけん青空やグループホームひばりが描かれています。よくみると内村隼人先生ご夫妻が踊っている姿も描かれています。

先日、四月二十八日、城山観光ホテルにおいて百数十人の人たちが集まつて内村川上内科の移転開業祝賀会が開かれました。参議院議員の加治屋義人先生、辻秀久先生もご出席され、華々しくも氣の引き締まる会になりました。

新しいクリニックになつて私はもちろんのこと職員みんながはりきつて仕事をやつております。これからも在宅の患者さんにもたくさん目の配りみなさんのが健康管理をしていくこうと思っています。健康上のどんなことでも私たちに相談してください。

内村川上内科院長 川上 秀一

(院長プロフィール)

鹿児島市出身、吉野町在住。

四十八歳。一男一女の父。

昭和六十年鹿児島大学医学部卒業。

日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本在宅医学会会員。

